

テモテへの手紙第一 2章 11-14 節 教会における男女の役割

先月6月13日、火曜日、南部バプテスト連盟は著書パーパスドリブンライフ(人生を導く5つの目的)で有名なリック・ウォレン師が以前牧会していた全米最大の教会の一つ、サドルバック教会は南部バプテスト連盟と友好的な協力関係にはないと宣言する決断を永続的にする前例のない措置を講じました。私たちはアメリカにある教会ではありませんが、ハワイ太平洋バプテスト連盟への加入を通して協力関係にある南部バプテスト教会です。サドルバック教会ともう一つ女性を主任牧師としているはるかに小さな教会に対してとった行動に加えて、女性を牧師又は長老として持つ教会は南部バプテスト連盟とは友好的な協力関係にはないと言う修正文を明記した連盟の定款をさらに承認しました。1日も経たないうちに、この行動のニュースは世界中の主要な英字新聞社で報道され、日本のクリスチャントゥデイでも2本の記事が掲載されました。私たちYIBCが、プロテスタント系キリスト教派の中で、女性が長老や牧師として奉仕することに強い反対の立場を取るのには異例です。日本の教会として、男性のみ長老や牧師として奉仕が許される信仰声明や教会細則を採択し実践している時点で、私たちは教会の多数派にはありません。私たちの宗派がこのような状況に置かれていること、また日本のバプテスト教会としての私たちの立場を考えると、先週の長老や来週の執事についての説教でこの問題を取り上げるのではなく、聖書が教会における男女の役割について教えていると私たちが信じていることを、聖書からしっかりと示すことに十分な時間を割く必要があると感じました。

このことは教会として信じ、実践する事は非常に重要なことだと私は信じていますが、あまりにも多くの場合、私たちは女性がすることは制限されるという、多くの人にとって否定的な側面と思われることから始めてしまいます。しかし、聖書が強調するのは、ある性別が特定の役割から制限されることではなく、キリストの体における男女の平等なのです。ガラテア人への手紙3章がそれをととても明快にしています。

ガラテア人への手紙 3章 26~28 節 26 あなたがたはみな、信仰により、キリスト・イエスにあって神の子どもです。 27 キリストにつくバプテスマを受けたあなたがたはみな、キリストを着たのです。 28 ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由人もなく、男と女もありません。あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって一つだからです。

パウロが、私たちは信仰によって、男性も女性も、みな、神の子供です、ということは興味深いことです。これはとても重要です。なぜならば、パウロがこれを執筆した当時、女性には全くと言って何も受け継ぐ権利など無かったからです。ほとんどの場合、唯一息子たちに相続権利が与えられていたのです。このように述べることによって、使徒パウロを通して聖霊は私たちの神との関係は性別に基づいていないことを明らかにしたのです。神の御前では、私たちは養子として、特に息子として全員が対等な関係を与えられているのです。最初に見る私たちの平等の真理は私たちが神にあって、平等な相続の権利を共有している事です。次に彼はバプテスマの問題に取り組みます。私たちのバプテスマはキリストとの関係を表します。そして、そのキリストとの関係にあって、私たちはみな男女平等です。私たちはキリストにあってのみ救われるのです。あなたの性別はあなたを救いません。神があなたをご覧になる時、あなたがイエス・キリストの義に覆われていれば、つまり、あなたがキリストを纏ってあれば、あなたは救われています。

コリントへの手紙 第二 5章 21 節 はこう言っています。21 神は、罪を知らない方を私たちのために罪とされました。それは、私たちがこの方にあって神の義となるためです。

私たちが救われる時、私たちの性別ではなく、キリストとの関係が私たちの立場を明らかにします。キリストにあるという絶対的真理なのです。私たちのバプテスマは水に浸かることによって、象徴的に古い私たちが死に、水から上げられることによって、象徴的に新しい命に上げられるのです。つまり、私たちの平等についての二番目の真理はバプテスマによって対外的に証明される男女が共有するイエス・キリストのアイデンティティーです。

さらにパウロは核心をなす陳述をこの聖句の28節でします。28 ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由人もなく、男と女もありません。あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって一つだからです。

私たちがキリストにある時、そのアイデンティティーがこの地上で私たちを定義する他のどのアイデンティティーよりも最優先されます。私たちがユダヤ人、ギリシャ人、日本人、韓国人、中

国人でもどこの国籍であろうと国籍をなくすわけではありませんが、地上での国籍は私たちの教会でのそれぞれ関係を定めません。世の人々は、私たちが教会に家族として集まる時、私たちを国籍を基にして私たちを分けるでしょうが、私たちは神の御前で、互いに平等であり、一人として他の誰よりも優れている者、高い者、低い者はおらず、キリストにあって平等なのです。そして、この陳述の中の、**奴隷も自由人もなく**、は国籍だけでなく、社会的地位や仕事も含まれる事を示唆しています。この世があなたにどのような地位を与えようが、あなた自身がこの世でどのような立場に身を置こうが重要ではありません。あなたは経営者または、雇用主から奴隷のように思われていると感じる男性か女性であるかもしれません。あなたは国から見れば不法滞在者、あるいは実際刑務所に収監されている人かもしれません。しかし、キリストにあって、私たちは切り離すことのできない一つのキリストの体、すなわち彼の教会として繋がっているのです。つまり、**私たちの平等についての第三の真理は、キリストが世の人の目から見た区別に関係なく、私たちを等しく結びつけてくださると言う事です。**

世界システムは人類の平等について語ります。しかし、人類の真の平等は、イエス・キリストの福音と私たちは皆、神によって創造されたが、罪のために失われ、キリストの死と復活による贖いを必要としていると言う真理を信じて受け入れることによってのみ見出すことができます。ですから、教会内での男女の役割分担について考えるとき、それはキリストにある者、つまり、救われている人たちの男女間の平等を見出すことから始めなければなりません。しかし、私はさらに踏み込んで、神が教会で女性をどのように用いられ、聖書の中でどのように働かれるかを見ていきたいと願っています。なぜなら、たとえ男性と女性が平等だと信じていたとしても、教会には女性の奉仕の場が少ないという誤った結論に至ってしまうかもしれません。最後に、男女平等とは正反対のことを言っているように見える聖書箇所を見て終わります。ガラテヤ人への手紙で築かれた土台をもとに、神の御心に適った女性がどのようなことをしているのか、聖書の例を見ていきましょう。まず、旧約聖書から始め行きましょう。士師記 4 章 4-5 節では、唯一の女性士師を紹介しています。**士師記 4 章 4~5 節 4 ラピドテの妻で女預言者のデボラが、そのころイスラエルをさばっていた。5 彼女は、エフライムの山地のラマとベテルの間にあるデボラのなつめ椰子の木の下に座し、イスラエルの子らは、さばきを求めて彼女のところに上って来た。**

ここで明らかなのはデボラが何らかの形でイスラエルの民を導いていたことは、彼女の全貌を読むと、彼女が神に従うように民を導いていることがわかります。彼女は士師とも預言者とも呼ばれています。この紹介の後、彼女はイスラエルのもう一人の指導者と思われるバラクを呼び、彼に軍隊を集めるように伝え、神がイスラエルを抑圧している国を戦いでバラクによって敗北させると預言します。しかし、バラクはデボラ抜きで戦いに行くことを望みませんでした。そして、彼の信仰の欠如とリーダーシップの欠如のゆえに、デボラは、相手の王シセラは女の手で殺されるのだから、彼が戦いの栄光を受けることはないと言いました。

デボラではありませんでしたが、別の女性がシセラを殺して争いを終わらせました。旧約聖書には、たとえば、戦いにおけるリーダーシップの役割が男性の弱さ故に与えられたものであったとしても、神が民を導くために用いた女性の明確な例があります。次に、新約聖書を見て、女性が初代教会でどのように奉仕したかを見ましょう。使徒の働き 18 章を見ると、このような女性たちの一人がいます。アキラとその妻プリスキラは、使徒パウロの長年の助け手でした。パウロはコリントの町で彼らと出会い、一時期、彼らの下で実際天幕作りの仕事をしていたようです。しかし、私たちがこの夫婦について一つ知らされていることは、他のクリスチャンに二人は弟子訓練を受けさせ、プリスキラは女性だけに限定していませんでした。**使徒の働き 18 章 24~26 節 24 さて、アレクサンドリア生まれでアポロという名の、雄弁なユダヤ人がエペソに来た。彼は聖書に通じていた。25 この人は主の道について教えを受け、霊に燃えてイエスのことを正確に語ったり教えたりしていたが、ヨハネのバプテスマしか知らなかった。26 彼は会堂で大胆に語り始めた。それを聞いたプリスキラとアキラは、彼をわきに呼んで、神の道をもっと正確に説明した。**

プリスキラが最初に言及されていることに注目してください。彼女は、自分がこの評判の高い説教者に教え、彼の神学を正しさを与えることが、女性としてどう見えるかについて、あまり深く考

えていなかったようです。夫と一緒にいるにもかかわらず、このことで彼女を見下すであろう教会を知っています。しかし、聖書は、彼女が夫とともにこの説教者に神学的な教えを与えていることで、彼女の奉仕を肯定的にとらえています。使徒パウロがローマ人への手紙 16 章 1 節で称賛しているフィベという次週その人について語る女性がいました。**ローマ人への手紙 16 章 1 節 1 私たちの姉妹で、ケンクレアにある教会の奉仕者であるフィベを、あなたがたに推薦します。**

パウロがこの女性をケンクレア教会の執事と呼んでいることは明らかであることを論証したいと思っています。それが明らかでないとしても、教会内での彼女の働きのために彼女を選抜していることは明らかである、ということを経験論証したいと思います。つまり、神の目から見れば平等であるだけでなく、男女ともに神が御国を広げ、主の教会を築き上げるために神に用いられているようです。神は男女がともに神に仕え、教会で奉仕することを意図しておられる。奉仕における男女の役割について、私たちがどのような理解を持っていようと、神が私たち全員を教会で奉仕するよう召しておられるということに焦点を合わせなければなりません。両性の平等の基礎が築かれ、教会における男女の働きが同等になったところで、テモテへの手紙第一 2:11-14 を見たいと思います。

ここでは、教会における男女の役割は対等ではあるが、相互補完的なものであることがわかります。**テモテへの手紙 第一 2 章 11~14 節**

11 女は、よく従う心をもって静かに学びなさい。 12 私は、女が教えたり男を支配したりすることを許しません。むしろ、静かにしていなさい。 13 アダムが初めに造られ、それからエバが造られたからです。 14 そして、アダムはだまされませんでした、女はだまされて過ちを犯したのです

では、聖霊が使徒パウロを通して既に私たちにほかの箇所でも語っていることに照らしてみると、パウロはここで何を語っているのでしょうか。彼は、教会の礼拝で女性が語る場所はないと言っているのでしょうか？ 礼拝で女性が証しをしたり、音楽をリードしたり、聖句を読んだり、礼拝通訳をしたり、祈ったりすることは、聖書の教えに反しているのでしょうか？ 私の答えはもちろん NO です。この聖書箇所は非常に明確な何かを禁止しています。そして、多くの革新的なフェミニスト学者たちはこの文を釈明し言い抜けようとしてきました。平等主義的な福音主義者たちでさえ、この言葉は完全に当時の文化的規範であり、現代には当てはまらないと解釈するでしょうが、私たちはこの文章が何かを禁止しており、それは現代の教会にも当てはまるものだと見なければなりません。

この箇所では少し脱線して、禁止されていることがなぜ今日の教会にも当てはまるのかを示すことから始めようと思います。この議論が地元の文化に根ざしていないことに注目してください。最近学んだコリント人への手紙一の一の別の箇所でも、パウロが女性の被り物に取り組んでいた時、私は、パウロが被り物を被ることを主張したのは、今でも有効な権限に関する原則はありますが、もう既に存在しない、当時の文化的規範に基づいているように思われることを説明しようとしてきました。しかし、ここで彼がどのような主張であれ、天地創造と罪への墮落という 2 つの事柄に戻り、結びつけていることに注目してください。これは 1 世紀のローマ文化の話ではありません。墮落だけでなく天地創造と結びつけているので、単なる罪の結果でもありません。これが文化的なものであるという議論は、天地創造との関連に言及しなければなりません、彼らはそれをしています。パウロが男女の役割分担を天地創造と結びつけているのはこの箇所だけではない。エペソ人への手紙 5 章では、結婚における男女の役割を取り上げていますが、この説教の範囲を超えています。また、創世記 2 章 24 節を引用して、天地創造と結びつけています。

創世記 2 章 24 節 24 それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは一体となるのである。

ですから、男性に何らかの形で限定的な権威が与えられているのは、どちらの箇所も天地創造に結びついたものであり、文化に結びついたものではありません。彼がこの箇所でも制限しているものが何であれ、男女間の創造の順序に結びついています。それで、彼は 12 節で何を言っているのでしょうか？ **12 私は、女が教えたり男を支配したりすることを許しません。むしろ、静かにしていなさい。**

この聖句には、表面的には2つの禁止事項がありますが、本質的には1つにつながっています。先週の説教を覚えていらっしゃるなら、第一テモテ 3:2 から、監督や長老は "よく教えることができる" 者でなければならぬと話しました。また、エペソ人への手紙 4 章 11 節から 12 節には、神が「**牧師や教師たちをお立てになったのは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせるためです**」と書かれています。

エペソ人への手紙 4 章 11~12 節 11 こうして、キリストご自身が、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧師また教師としてお立てになりました。12 それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためです。長老が教会生活に及ぼす権威は、主に神の御言葉を教える働きを通して発揮されます。ですから、教えることと権威を行使すること、この二つの考え方が一緒になっているのです。沈黙を守ることは、神の御言葉の説教を通して長老のリーダーシップを発揮するという非常に狭い制限に焦点を合わせているので、女性が長老又は牧師の役職に就くことを制限することになります。先週、テモテ第一 3 章の長老に関する聖書箇所には、女性が語り掛けられていないことを指摘しましたが、来週の執事に関する箇所では、女性が直接、おそらく執事として語り掛けられていることを指摘したいと思っています。これは、女性の長老を否定する完全な証拠ではありませんが、聖書の他の部分との文脈を考慮すると、聖書は女性が長老／牧師／司教として奉仕することを禁じているという伝統的な見解は正確であり、それは今日でも適用されるであろうことは明らかです。私たちはこの禁止事項を、私たちの定款と、私たちの信仰声明であるバプテスト信仰とメッセージ 2000 の文言で認めています。しかし、私がこのメッセージを男女の平等と教会における女性の奉仕という基盤から始めようと思った理由は、この補体論的立場が乱用されているからです。聖書的な補体論的立場は、男女には神から与えられた異なる役割があるが、どちらもミニストリーに携わることが期待されていることを認めるものです。聖書が明確にしている事を超える制限を求めているのではなく、新約聖書にあるように、教会のミニストリーの中核的な側面に女性が関わることを求めているのです。作家であり聖書教師でもあるジェン・ウィルキン は、福音連合に寄稿した記事の中で明快に語っています。"どの牧師にとっても、女性の奉仕を許可する教会文化を作るのか、それとも女性の奉仕を追求する教会文化を作るのかを考えることは課題となります。なぜなら、許可する文化では相補性が本来の機能を発揮できないからです。" YIBC は男性の奉仕を必要としており、長老という役職に就く者も必要です。しかし、同様に女性の奉仕も必要としています。女性も男性も、誰もが自分の働きがキリストの体において必要不可欠であると感じる文化が必要なのです。私たちは教会生活において、より多くのデボラ、より多くのプレスキラを必要としています。なぜならば、イエス・キリストは私たち一人一人をミニストリーに召されたのですから。私たちは誰も、教会が提供するものを黙ってただ受け入れ、吸収するよう求められているわけではありません。男性も女性も私たちは皆、神の栄光の御姿をこの世と教会内に等しく反映するために、神によって創造され、イエス・キリストによって贖われました。

創世記 1 章 27 節 27 神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。

私たちはそれぞれ違った役割を持っていますが、キリストにあって一つの目的を共有しています。キリストにあることが、私たちが誰であることを明確にします。それが私たちの目的を定め、特定のミニストリーへの召命を明確にします。そうです。私たちの中には、神にさまざまな補完的な役割のために召されている人たちがいます。しかし、女性であるあなた方にも、男性である私たちにも、教会においても、神の似姿の対等な担い手として、神に栄光を帰す福音を宣べ伝える目的があるのです。祈りましょう。

1 Timothy 2:11-14 Gender Roles within the Church

Last month, on Tuesday, June 13, the Southern Baptist Convention took the unprecedented step of making permanent the decision to declare that one of the largest churches in the United States, Saddleback Church, formerly pastored by Rick Warren of Purpose Driven Life fame, was “not in friendly cooperation with the Southern Baptist Convention.” We of course, are a cooperating Southern Baptist Church through our affiliation with the Hawaii Pacific Baptist Convention, although we are not a US based church. In addition to the actions taken with regard to Saddleback and another church far smaller with a woman as Senior Pastor, the Convention also approved changes to the Constitution which would make any church that has a woman as any kind of Pastor or Elder not in friendly cooperation with the SBC. Within one day, news of these actions had spread around the world in pretty much every major English news organization, and had been reported on with two full articles in the Japanese publication, Christian Today. Among Protestant Christian denominations, we are an anomaly to take a strong stand against women serving as Elders or Pastors. As a church in Japan, we are not in the majority of churches when we adopt a statement of faith and a Constitution that only allow for men to serve as Elders or Pastors. Given the unique circumstances of our denomination in the news, as well as our position as a Baptist church here in Japan, instead of simply addressing this issue in the sermon on Elders from last week and Deacons for next week, I felt like I needed to spend some extra time showing from the Bible what we believe it teaches regarding gender roles in the church.

While I do believe this is extremely important for us to believe and practice as a church, too many times we start with what seems for many to be the negative side of what women are restricted from doing. But the emphasis of scripture is not on the restriction of one gender from specific roles, **but on the equality of men and women in the body of Christ.** That’s where I want to begin. Galatians 3 makes this very clear. **Galatians 3:26-28 says, 26 for in Christ Jesus you are all sons of God, through faith. 27 For as many of you as were baptized into Christ have put on Christ. 28 There is neither Jew nor Greek, there is neither slave nor free, there is no male and female, for you are all one in Christ Jesus.** It is interesting that Paul says we are all, men and women, sons of God, through faith. This is important, because at the time Paul is writing this, there is no way for women to really inherit anything significant. For the most part, only sons had the right of inheritance. By saying it this way, the Holy Spirit through the Apostle Paul is making it clear that our relationship to God is not based on our gender. There is equality of relationship before God as adopted children, but specifically sons. ***So the first truth we see about our equality is that we all share equally in the inheritance we have in God.*** Then he addresses the issue of baptism. Our baptism shows our relationship to Christ, and in that relationship with Christ, we are all equal as men and women. We must be found in Christ in order to be saved. Your gender will not save you, only your relationship with Jesus Christ. If when God looks at you and sees that you are covered by the righteousness of Jesus Christ, in other words, you have put on Christ, then you are saved. **2Corinthians 5:21 says, 21 For our sake he made him to be sin who knew no sin, so that in him we might become the righteousness of God.** When we are saved, it is not our gender that defines us, it is our relationship with Christ. It is this idea of being “in Christ.” Our baptism demonstrates that as we symbolically die to self, going under the water and are symbolically raised to this new life as we come out of the water. ***So the second truth we see about our equality is that both men and women share the same identity in Jesus Christ which is outwardly testified to by baptism.*** Then Paul goes on to make the core statement of this passage in verse 28, **There is neither Jew nor Greek, there is neither slave nor free, there is no male and female, for you are all one in Christ Jesus.** When we are found in Christ, that identity takes priority over any other identity that may define us here on this earth. It’s not that we stop being Jewish or Greek or Japanese or Korean or Chinese

or any other nationality, but that does not define our relationships within the church. While people in the world will still see us and categorize us based on that, when we come together as the church, we should see each other as equal before God with no one better or higher or lower status than anyone else, but equally in Christ. And it's not just nationality, it is status in society and job that is seen in the statement "slave nor free." It doesn't matter what status the world gives to you or what position you find yourself in the world around you. You may be a business owner or a salary man or woman who feels like his or her employer thinks you are a slave. You may be an illegal alien to the government or truly someone imprisoned in jail, yet in Christ, we are united together into one inseparable body of Christ – his church. ***So, the third truth we see about our equality is that Christ unites us together equally, without regard to human distinctions.*** The world system loves to talk about equality for all, but true equality for humanity can only really be found in the gospel of Jesus Christ, and accepting the truth that we are all created by God, but lost in sin and need redemption purchased by Christ's death and resurrection.

So, as we think about gender roles within the church, that has to start with the equality we find between the sexes for those who are in Christ, in other words, those who are saved. I want to take it a step further, though, and look at how we see God using women in the church and in how he works in the Bible. Because even if we believe that men and women are equal, we might still wrongly come to the conclusion that there are few places of service for women in the church. We will end by looking at a passage that can seem to say the opposite of equality between men and women, so let's build from that foundation laid in Galatians to see examples in Scripture of what women of God do. Let's start with the Old Testament. In the book of Judges chapter 4, we are introduced to the only woman judge in **Judges 4:4-5. 4 Now Deborah, a prophetess, the wife of Lappidoth, was judging Israel at that time. 5 She used to sit under the palm of Deborah between Ramah and Bethel in the hill country of Ephraim, and the people of Israel came up to her for judgment.** It is clear here that Deborah was leading the people of Israel in some way, and when you read her complete story, it is clear that she is leading the people to follow God. She is called both a judge and a prophetess. After this introduction, she calls Barak who seems to be another leader in Israel and tells him to gather an army and prophesies that God would deliver the nation oppressing Israel to be defeated by Barak in battle. Barak did not want to go to battle without Deborah along with him, though. And because of that lack of faith on his part and lack of leadership, Deborah said he would not receive the glory of the battle because the opposing king Sisera would be killed at the hand of a woman. It wasn't Deborah, but another woman ended up killing Sisera and ending the conflict. So, in the Old Testament we have a clear example of a woman God used to lead his people, even if part of that leadership in battle was due to the weakness of the man.

Then we can go to the New Testament and see how women served the early church. When we look at Acts 18, we see one of these women. Aquila and his wife Priscilla were long time helpers for the Apostle Paul. He met them in the city of Corinth and it seems he actually worked for them in their tentmaking business for a time. But one thing we know about this couple is that both of them discipled other Christians and Priscilla did not limit herself to just women. **Acts 18:24-26 says, Now a Jew named Apollos, a native of Alexandria, came to Ephesus. He was an eloquent man, competent in the Scriptures. 25 He had been instructed in the way of the Lord. And being fervent in spirit, he spoke and taught accurately the things concerning Jesus, though he knew only the baptism of John. 26 He began to speak boldly in the synagogue, but when Priscilla and Aquila heard him, they took him aside and explained to him the way of God more accurately.** Notice Priscilla is actually mentioned first here. She didn't seem to think too deeply about how it would look as a woman for her to be

teaching this well respected preacher and even correcting his theology! I know some churches where she would be looked down on for this, even though she did it with her husband. But the Bible puts her service in a positive light as she gives theological instruction along with her husband to this preacher. There is a lady named Phoebe, who I will talk about next week, that the Apostle Paul commends in **Romans 16:1. 16 I commend to you our sister Phoebe, a servant of the church at Cenchreae...** I will make the case next week that it seems clear that Paul is likely calling this lady a Deacon of the church at Cenchreae, and even if that isn't clear, he is singling her out for her ministry within the church. **So, it seems that in addition to being equal in the eyes of God, both men and women are used by God to further his kingdom and build his church.** God intends for both men and women to be serving him and ministering in the church, and whatever other understanding we have regarding gender roles in ministry, we must keep that focus, that God calls all of us to serve in the church.

With the foundation of equality between the two genders, and the equal ministry of both men and women in the church being laid, now I want to look at **1 Timothy 2:11-14**. Here we begin to see that there are equal but complementary roles given to men and women in the church. **11 Let a woman learn quietly with all submissiveness. 12 I do not permit a woman to teach or to exercise authority over a man; rather, she is to remain quiet. 13 For Adam was formed first, then Eve; 14 and Adam was not deceived, but the woman was deceived and became a transgressor.** So, in light of what the Holy Spirit tells us through the Apostle Paul in other places we have already looked at, what is he saying here. Is he saying that there is no place for a woman to speak in a church service? Are we violating Scripture by having women share testimonies, lead music, read scripture, translate and even pray in worship? My answer is no, of course. This passage is giving a prohibition on something, that is very clear. And although many progressive feminist scholars have attempted to explain it away, and even egalitarian evangelicals would interpret it as completely a cultural norm for that time that does not apply today, we must see that it is prohibiting something and it is still applicable for the church today.

I'm going to go a little out of order with this passage, and start by showing why whatever is being prohibited is still applicable to the church today. Notice that the argument is not grounded in the local culture. In another passage we recently studied in 1 Corinthians when Paul was dealing with head-coverings on women, I tried to show that the argument he made for head-coverings did seem to be based on cultural norms of the time, which no longer exist, although there were principles regarding authority which are still in effect. But notice here that he ties whatever argument he is making back to two things, Creation and the Fall into Sin. This is not about first century Roman culture, and it is also not simply a result of sin since he ties it into Creation and not just the Fall. Any argument that this is cultural must address the connection to Creation, which they fail to do. This isn't the only place that Paul ties gender roles to Creation. In Ephesians 5 where he addresses gender roles in marriage, which is beyond the scope of this sermon, he also connects to creation by quoting **Genesis 2:24, Therefore a man shall leave his father and his mother and hold fast to his wife, and they shall become one flesh.** So, both places where men are given some form of what I would say is limited authority, it is tied to Creation and not culture. Whatever he is restricting in this passage, it is tied to Creation order between men and women.

So what is he saying in verse 12? **12 I do not permit a woman to teach or to exercise authority over a man; rather, she is to remain quiet.** On the surface there are two prohibitions in this verse, but they are connected as essentially one. If you remember last week's sermon we discussed from **1 Timothy 3:2** that an overseer or elder must be **"Able to**

teach.” We also looked at [Ephesians 4:11-12](#) that says God gave “[the shepherds and teachers, 12 to equip the saints for the work of ministry.](#)” The authority that an Elder exerts into the life of the church is primarily through the teaching ministry of God’s Word. That is why I say these two ideas, teach and exercising authority, go together. The keeping silence is focused on a very narrow restriction of exerting Elder leadership through the preaching of God’s Word, so this would restrict women from serving in the office of Elder or Pastor. Last week, I pointed out that there are no women addressed in the section in 1 Timothy 3 on Elders, but next week, I will point out that when addressing Deacons, women are directly addressed, presumably as Deacons. This isn’t perfect evidence against women Elders, but taken in context with the rest of Scripture, the Bible is clear that the traditional view that the Bible prohibits women serving as Elder/Pastor/Bishop, whatever term you choose to use, is accurate and it is still applicable today. We have recognized this prohibition in the wording of our Constitution and the Baptist Faith and Message 2000, which is our Statement of Faith.

But the reason I wanted to start this message on the foundation of equality between men and women and the service of women in the church is due to the abuse of this complementarian position. A Biblical complementarian position recognizes that there are different God given roles for men and women, but that both are expected to be involved in ministry. It is not looking for restrictions past where the Bible is clear, and seeks to have women involved in core aspects of the church’s ministry just like we see in the New Testament. [Jen Wilkin, an author and Bible teacher said it best in an article for the Gospel Coalition, “The challenge for any pastor would be to consider whether he is crafting a church culture that *permits* women to serve or one that *pursues* women to serve. Because a culture of permission will not ensure complementarity functions as it should.”](#) YIBC needs men to serve, some in the office of elder, but YIBC needs women to serve just as much. We need a culture where everyone, women and men, feel that their ministry is essential in the body of Christ. We need more Deborahs, and we need more Priscillas in the life of the church, because Jesus Christ has called each of us to be in ministry. None of us are called to silently absorb what the church offers. All of us men and women were created by God and redeemed through Jesus Christ to reflect equally the image of God’s glory to this world and within the church. [Genesis 1:27 says, So God created man in his own image, in the image of God he created him; male and female he created them.](#) We do have different roles, but we all share one purpose in Christ. It is being in Christ that defines who we are. It defines our purpose, and it defines our calling to specific ministry. Yes, we have different but complementary roles that God calls some of us to. But you as a woman and we as men, have a purpose in the church and a gospel to proclaim that will bring glory to our God as equal bearers of his image. Let’s pray.